



〒630-8580

奈良市二条大路南一丁目1番1号
奈良市議会事務局 ☎(0742)34-4790

■発行／奈良市議会

■編集／奈良市議会だより編集委員会

奈良市議会だよりは年4回（2月、5月、8月、11月）の発行予定です。



春の到来を告げる川路桜（佐保川沿い）

3月定例会

市議会基本条例等を可決

本市議会は、平成25年3月定例会を2月27日から3月22日までの24日間の会期で開きました。

今定例会では、議会制度検討特別委員会での検討を重ねてきた市議会基本条例と議員政治倫理条例の2議案が同委員会から提出され、いずれも可決しました。また、議員報酬については3案が議員提案され、今後1年間、現行どおり議員報酬と期末手当を10%削減することに決定しました。このほか、地方自治法の改正に伴って政務調査費を政務活動費に変更するための条例と政治倫理審査会を一部改正する条例の2議案が提出され、いずれも可決しました。なお、議員提案されたクラスによる被害の防止及び良好な生活環境を守る条例は市民環境委員会に、また議員定数を39人から36人に削減する条例の改正案は議会運営委員会にそれぞれ付託し、閉会中に審査することになりました。

平成25年度一般会計予算は修正可決

市長からは人事案件5件を含め、25年度予算案など76件の議案が提出され、このうち25年度一般会計予算案を修正可決し、職員倫理条例は総務委員会での閉会中も継続して審査し、その他の69件はいずれも原案どおり可決し、人事案件に同意しました。このほか18件の報告を受け、継続審査していた市長等政治倫理条例と市政政治倫理審査会条例は修正可決しました。

目次

◆そこが知りたい質疑・一般質問	2～5
◆平成25年度予算／予算決算委員会	6
◆議会の情報	7
◆議案等の審議結果とその賛否	8

議案や質問内容等、市議会ホームページで更に詳しくご覧いただけます。

3月5日から7日までの
本会議では、23人の議員(うち
代表質問5人)が質疑・
一般質問を行いました。
以下は、質問と答弁の要
旨です。

(発言順)



※会派は3月定例会時のものです。

代表質問

3ワクチン定期接種化と 妊婦健診助成への対応は

公明党 高杉美根子

問 国により、平成25年度から、子宮頸がん予防、ヒブ、小児用肺炎球菌の3ワクチンが定期接種化されるとともに、妊婦健康診査の公費助成が恒久的な仕組みとなる。市はどう取り組むのか。

答 3ワクチンについては、全額公費負担による実施を予定している。なお、対象者には個別に通知し、しみんだよりやホームページ等を通じて広く周知していきたい。
妊婦健康診査の公費助成については、これまでの制度を改正し、9万5千円の助成限度額の範囲で自由に利用できるような調整を図っている。

新斎苑の建設候補地 横井町山林を想定か

民主党 階戸 幸一

問 平成25年度予算に新斎苑建設調査費用が計上されているが、横井町山林を候補地として考えているのか。

答 予算は、事業への理解を得るための先進地視察や、地形測量、土質調査及び環境アセスメント等の業務を行う費用について、横井町山林を想定して算出し計上した。

横井町山林は唯一、過去に地権者及び地元住民から一定の理解を得たことがあり、現在、重要な候補地として関係者と協議を始めている。
今後、地権者や地元と十分に合意形成を図る努力をしていきたい。

老朽化して危険な 保育所や学校の修繕を

日本共産党 山口 裕司

問 市の保育所や学校・幼稚園は老朽化が進み、危険との声がある。園児、児童・生徒の安全安心のため、現場の修繕要望に対応すべきでは。

答 施設の安全安心な利用や、役割・機能を果たすため修繕の必要性は十分認識している。

平成25年度予算の維持補修費として、保育所には24年度を上回る額を、学校・園には24年度同様の額を措置した。
今後、老朽化する公共施設の増加で、更なる維持補修経費が必要になると考えている。限られた財源の中、優先順位を見極め、計画的な予算配分を行っていきたい。



補修が必要な開放廊下 (高円保育園)

東部地域の振興対策 今後の取り組みは

政友会 東久保耕也

問 東部地域振興計画の策定には、地域の声を聞きながら振興策を推進する必要があると思うが、市はどう取り組むのか。

答 東部地域振興計画策定事

業の目的は、田原・柳生・大柳生・東里・狭川地区の中長期的な発展である。
農業振興、地域資源の発掘や再生等の課題を総合的に検討する必要があるが、各地域の意見を聞くため、例えば各地区にまちづくり協議会を設置し、それらを包括する形の「東部地域づくり協議会」などと市で、基本構想及び実施計画の策定に取り組みたい。

選挙パフォーマンスが 集中する市長の政策発表

政翔会 三浦 教次

問 任期が終わりに近付いた今の時期にパフォーマンス的な発表が集中しているのはなぜか。

答 環境清美工場におけるリレーセンターの案、リニア中間駅の誘致、火葬場建設候補地、そして職員退職手当の減額や静脈認証システムの導入など個々の政策には、それぞれにこれまでの経緯があり、その積み重ねの上でこの時期に発表することとなった。
こういった過去の経緯を踏まえた上で、より迅速に、より適切に対応するという考えの下で、しかるべきタイミングで発表している。

個人質問

リニア中央新幹線駅誘致
分かりやすい情報発信を

公明党 森岡 弘之

問 リニア中央新幹線駅誘致に際し、市の優位性や開業による効果をもっと分かりやすく市民等に情報発信すべきではないか。



答 しみんだよりやホームページ、各種イベント等を通し、分かりやすく情報提供を行い、PR看板等も設置する。更に誘致決起集会も開催し、市民や市内各種団体と連携を深め、思いを一つにして、誘致への機運を高めたい。

また、観光地であることを生かし、東京観光オフィスや東京駅前観光案内所内での観光PRイベントにより、首都圏でも積極的に情報発信をしていきたい。

いじめ防止対策に
「SOSカード」を

民主党 藤本 孝幸

問 いじめ防止対策として、いじめの内容を記載でき、相談先も掲載された「いじめSOSカード」を作り、児童・生徒に配布しては。

答 いじめから子どもを守る対策として、いつでも相談機関に相談できることを知らせるカードの携帯は、非常に効果的と認識している。平成24年度1学期の終業式に、すべての児童・生徒とその保護者に、相談機関の一覧表とともに民間相談機関が作成したカードを配布した。

今後は、他市の事例も参考に、民間相談機関とも連携し、カードの作成も検討していきたい。

市に必要な開発が
大宮通りプロジェクト

日本共産党 西本 守直

問 県の進める大宮通りプロジェクト（※）は、市にとり必要な開発と考えているのか。

答 市役所前の県営プール跡地が空き地のまま放置されていることは、市の地域経済の観点から非常に問題である。ホテル誘致については様々な議論があると考えるが、土地活用をしっかりと図っていくこと、またJR奈良駅西口から近鉄新大宮駅までを活性化するという点で、大きな意味があると考ええる。

※大宮通りプロジェクト：平城宮跡や奈良公園、県営プール跡地を一体的に整備し、沿道空間のにぎわい創出を目指す。良質なホテルの誘致なども検討されている。

ごみ収集方法の変更
問い合わせへの対応は

政友会 横井 雄一

問 4月1日からごみ収集の曜日、区域、内容等が変更されるが、市民からの問い合わせが殺到すると予想される。平常時でも電話がなかなか

つながらないという声をよく聞く。対策が必要では。

答 収集課や企画総務課の対応職員を増やすとともに、一般的な問い合わせについては環境部のどの課でも答えることが出来るよう対応していく。

また、誤って出されたごみについての問い合わせがあれば、収集担当者が出向いて説明を行うなど、様々な対応により周知を図っていききたい。



収集方法変更への問い合わせに対応する職員

学校施設の危機管理
緊急提言への対応

政翔会 植村 佳史

問 文部科学省による緊急提言「東日本大震災の被害を踏まえた学校施設の整備につい

て」や、それに伴う国の財政支援をどう生かすつもりか。

答 緊急提言が求める、学校施設に地域の拠点、応急避難場所としての機能を備えておく必要性は認識している。

耐震化に併せ、校舎への太陽光発電設備の設置や給食室へのLPガスのバルク供給方式（※）の導入等、防災機能を備えた学校施設や器具の整備は、文科省の防災対策事業活用事例集等も参考に、担当部署と教育委員会の連携・協力の下で取り組んでいきたい。

※バルク供給方式：ガスボンベ等の代わりにバルク設備（ガス貯蔵タンク）を設置し、そこにローリー車で直接LPガスを補充する方法。

公共インフラの老朽化
整備費用の予算配分は

無所属 中西吉日出

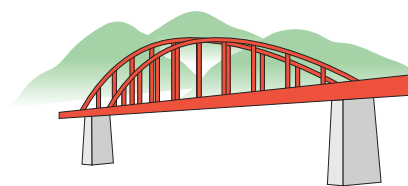
問 公共施設や道路等の公共インフラの老朽化が深刻化している。事故が起きてからの対応でなく、定期点検等を実施し、市民の安全安心を図ることは行政の責務である。今後の予算配分の考え方は。

答 公共インフラの整備は今後ますます大きな課題となり、その補修や更新にかかる費用

の大部分が市の負担となる。平成25年度の維持補修費は24年度並みの予算配分だが、

今後とも費用の急激な増加は抑制しなければならない。

橋梁や下水道の長寿命化などの対策を実施して計画的な更新を図りたい。



子どもに寄り添う組織を複雑化する子ども問題

公明党 宮池 明

問 いじめや虐待などの問題に行政機関別で対応している状況にある。各機関や子ども、保護者との調整を図る機能を持たせた機関があれば、横断的、機能的に対応できる。子どもに寄り添いながら相談や対応ができる組織が必要では。

答 すべての児童・生徒が人間として尊ばれる社会の実現は大人の責務と認識している。いじめや虐待のケースに応じて、児童・生徒や保護者等に、いろいろな援助ができる組織が存在することで、良きアドバイスや人との出会いな

ど、解決の糸口も見えてくるのではと考えている。

市民負担の三セク債責任所在の説明は

民主党 樽谷 佳男

問 第三セクター等改革推進債の償還に20年間、毎年約10億円の負担が発生するが、市民に丁寧な説明がされていない。責任の所在などの説明を行うつもりはあるのか。

答 市は調査し、公表する責任があると考え、その都度市民や議会などに対して報告をしてきた。土地開発公社経営検討委員会の最終報告書にもあるように、制度の運用に関与した者が責任を回避し合う中で損害が拡大した。当時の意思決定に携わっていた市の幹部や上層部の政治的責任は免れられないと考えている。

クリーンセンター候補地高まる住民の反対の声

日本共産党 北村 拓哉

問 市長はクリーンセンター移転建設候補地を中ノ川町・東鳴川町地内とすると表明したが、周辺住民から反対や見直しを求める声が出ている。

どう認識しているのか。

答 クリーンセンター移転は、全市民の日々の生活に関わる非常に大きな市の懸案事項で、着実に進める必要があり、様々な提案をしているが、説明不足や機会の不足は反省すべきと認識している。

今後、これまで以上にいろいろな提案を、より丁寧に説明するよう心掛け、候補地住民との信頼関係を更に深められるよう努力していきたい。

八条町付近に新駅構想注目される市の対応

政翔会 池田 慎久

問 八条町付近で検討されているJR新駅の設置についての考えは。

答 国は平成30年半ばまでに京奈和自動車道・大和北道路(仮称)奈良インターチェンジから南側区間の供用を計画している。これに併せて県では、奈良インターチェンジから市内へのアクセス道路とされている、西九条佐保線の平面道路化やJR関西本線の鉄道高架化を計画している。

こうした中で、八条町付近に新駅の設置が検討されているが、市にも巨額の財政負担が懸念されるため、慎重に対

応していきたい。



高架化が検討されているJR八条踏切付近

介護職員の処遇改善でサービスの充実と質向上

無所属 吉川 等子

問 介護サービスの充実と質の向上には、豊富な人材と介護する側の生活の安定や心のゆとりが必要と考える。

人件費に対する補助や介護職員の増員に手立てを講じる考えは。

答 介護に従事する職員の処遇は他の業種と比べて決して厚くなく、有効求人倍率は高いが離職率も高いため、職員が定着しないのが現状である。

現在の財政状況から、市独自の補助等は実施できないが、処遇が改善し介護職場に人が

定着する施策を講じるよう、国に対して要望していきたい。

家庭的保育事業市の取り組みは

公明党 伊藤 剛

問 家庭的保育事業(※)いわゆる保育ママ事業に対する今後の取り組みは。

答 まず、法令や国のガイドライン等に沿って制度設計を行い、次に、保育士等の資格を持つ人の中から希望者を募集し、市指定の研修を修了した者を家庭的保育者として認定する。その後、夏休み期間中に幼稚園の余裕教室を施設整備し、平成25年10月以降に保育を開始する予定である。

25年度は待機児童が多い地域の大宮、富雄北、富雄第三幼稚園を検討している。

※家庭的保育事業：おおむね2歳児までの少人数の児童を市が認定した家庭的保育者が居宅などに整備した専用の保育室で保育する事業。

静脈認証システム導入職場改善の取り組みは

民主党 内藤 智司

問 環境部職員の出勤管理

への静脈認証システム導入について、病休・中抜け問題の発覚以降、状況改善への取り組みは。職場風土の向上こそが大切と考えるが。

答 再発防止に向け、年間当たりの病休日数の制限、環境清美部管理・業務体制再生検討委員会、業務改善課の設置などにより取り組んできた。

職員の意識改革と資質向上を目的とした研修も行い、平成25年4月からは、中抜けの要因となっていた収集体制の変更も予定している。

このシステムは最も確実な方法であり、不正行為の抑止力としても期待している。

子育て中の親に安心を 10カ月児健診の実施

日本共産党 山本 直子

問 乳幼児の定期健康診査は、生後4カ月の次は1歳7カ月と期間が空き、親から不安の声もあったが、平成25年度に10カ月児健診が予算化されている。ここに至る経過は。

答 乳幼児の健康診査は、これまで発達の節目である4カ月、1歳7カ月、3歳6カ月に実施していた。しかし、4カ月から1歳7カ月までは期間も長く、健診機会を増やし

てほしいとの要望も多いことから、方策を検討してきた。その結果、25年度から、従来の健診に加え、10カ月児健診を実施することとした。

ひとり親家庭等へ 情報提供が不十分では

無所属 酒井 孝江

問 母子家庭・父子家庭等へ支援事業等の情報が行き渡っていない可能性がある。市はどう周知を図っているのか。

答 これまで支援事業や制度については、しみんだよりやホームページなどで、機会あるごとに周知に努めてきた。しかし、平成23年度に実施したひとり親家庭の実態調査の結果で、情報提供が不十分であることが明らかとなった。

その対応策として、ひとり親家庭等支援情報冊子を作成し周知を図りたい。また、公民館や身近な公共施設を通じ、更なる周知に努めていきたい。

奈良町の案内板設置予算 その具体的内容は

無所属 松石 聖一

問 奈良町は地理が分かりにくいという声があり、既に道しるべを設置されているが、

平成25年度予算で更に案内板設置予算を計上している。その具体的内容は。



奈良町の道しるべ（中新屋町）

答 奈良町は、市の貴重な文化遺産であるとともに、魅力的な観光資源であり、近年、多くの観光客が訪れている。しかし、観光案内板の整備が遅れているため、散策時の不便を指摘する声がある。

このことから25年度、奈良町における観光ルートの拠点に、9つの観光案内板を設置することで、円滑な周遊を促していきたい。

中心市街地活性化基本計画 方向転換が必要では

無所属 天野 秀治

問 中心市街地活性化基本計

画が平成24年度末で終了する。雇用や税収増に結び付く地域経済の持続的発展こそが活性化で目標は達成できていない。

方向転換が必要と考えるが、25年度に同計画作成の予算措置をした理由は。

答 郊外型ショッピングセンター等の進出による空洞化等が現実問題として懸念され、中心市街地活性化をしっかりと進めていくために引き続き計画を策定する必要がある。

第一次計画はハード中心でソフト面が薄く、その反省を踏まえ、より良い計画を作成すべく予算措置をした。



どうなる街の空洞化（小西町）

保育所の待機児童対策 平成25年度の新規予算は

無所属 岡田佐代子

問 保育所の待機児童は多く、市長は待機児童ゼロを目指す。担当課は、保育所を建ててきたけれどもゼロにはならないと言う。マンパワーが必要と考えるが、平成25年度の待機児童対策への新規予算は。

答 現役世代の人口流入と定住の促進のため、子育て支援策を講じ、子育てと仕事の両立を図ることが重要である。

そのため25年度予算は、新設民間保育所に対する運営委託費と特別保育事業実施に対する補助や、公立保育所に保育士を追加配置するための経費、認定こども園移行の施設整備費など、合計9億4527万7千円を予定している。



平成25年度予算

一般会計予算は一部執行留保 環境部職員の静脈認証システムは削減

平成25年度予算について、市長は提案説明で、「市長4年間の総括として編成した。土地開発公社等の解散に伴う第三セクター等改革推進債の償還や生活保護費等の社会保障関係費の伸びなどで35億円の収支不足額を試算したが、全職員の給与削減の継続や市保有土地の売却等であらうじて収支を合わせた。限られた予算の中で最大の効果を上げるため、当面する課題に即応する施策に重点配分した」と述べました。

また、予算決算委員会の審査の中で、一般会計歳入における市保有地売却による財産収入について多くの疑問が呈され、市長は、「財源の見通しがつくまでの間、環境清美工場のオーバーホールなどの執行を留保する」と述べました。

更に、一般会計予算については、予算決算委員会の修正案を本会議で可決しました。その結果、一般会計は総額1234億3千846万2千円と前年度に比べて0・1%の縮減となっています。

平成25年度一般会計予算

	予算額 (億円未満を 四捨五入)	対前年度比 (▲はマイナス)	市民1人当たり (4月1日現在、 千円未満を 四捨五入)
	1,234 億円	▲ 0.1%	33 万 8 千円
【歳入】			
市税	519 億円	0.0%	14 万 2 千円
(うち市民税)	(260 億円)	▲ 1.8%	7 万 1 千円)
国庫支出金	214 億円	1.7%	5 万 9 千円
地方交付税	157 億円	2.6%	4 万 3 千円
市の債	151 億円	▲ 5.9%	4 万 1 千円
その他	193 億円		5 万 3 千円
【歳出】			
民生費	499 億円	▲ 1.0%	13 万 7 千円
公債費	175 億円	1.7%	4 万 8 千円
総務費	147 億円	2.6%	4 万円
教育費	112 億円	16.7%	3 万円
土木費	109 億円	▲ 15.3%	3 万円
衛生費	108 億円	3.0%	3 万円
その他	84 億円		2 万 3 千円

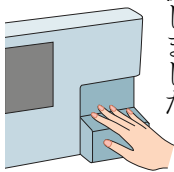
予算決算委員会

予算に係る24議案と条例1議案は、予算決算委員会に付託しました。

委員会は、3月7日に資料を要求し、11日、12日、13日に5つの分科会で審査し、3月18日、各分科会委員長の報告を受け、市長に対する総括質疑を経た後、平成25年度一般会計予算については、委員より、環境部職員の出退勤を管理する静脈認証システムに係る経費153万8千円を削減する修正案が提出され、賛成多数で可決し、他の議案についてはいずれも原案どおり可決すべきものと決しました。

以下は、各分科会委員長報告の概要です。

総務分科会



- ・ 条例改正が示されていない市職員給与の減額
- ・ 35億円の収支不足対策
- ・ 維持補修費の決算状況
- ・ 歳入での市保有土地売却
- ・ 住宅新築資金等貸付金の赤字解消対策

市民環境分科会

- ・ スポーツ施設の改修

- ・ 環境部職員の出退勤管理への静脈認証システム導入
- ・ イクメン手帳
- ・ 住民反対の新火葬場候補地のデジタル移動系防災行政無線の整備

建設分科会

- ・ ごみ分別や減量の取り組み
- ・ コミュニティバスの運行
- ・ クリーンセンター最終候補地と市の遠望景観
- ・ 市民の要望を聞く会
- ・ 市駐車場事業特別会計の繰入金
- ・ 国による社会資本整備総合交付金に係る事業

観光文教水道分科会

- ・ 学校給食の公会計化
- ・ 教職員のワーク・ライフ・バランス
- ・ 就学援助制度の改善
- ・ 観光修学旅行誘致
- ・ 学童保育利用料の適正化
- ・ 中心市街地活性化の取り組み

厚生消防分科会

- ・ 介護認定審査会事務の委託
- ・ 生活保護費の削減に伴う国保等保険料の負担
- ・ 消防団員による防火衣の購入
- ・ 待機児童対策
- ・ 生活保護の不正受給防止専門チーム

議会の情報

市議会基本条例等を可決

議会制度検討特別委員会で検討されてきた市議会基本条例等が、市民アンケート、意見募集（パブリックコメント）、議員勉強会、全員協議会等を経て今定例会に提出され、可決しました。

○市議会基本条例の制定：地方自治の本旨に基づいて議会の役割を明らかにするとともに、議会の基本的事項を定め、公正かつ公平で透明な議会運営を図り、もって市民福祉の向上と民主的な市政の発展に寄与することを目的とする。

○市議会議員の政治倫理に関する条例の全部改正：議員が市民全体の奉仕者としてその人格と倫理の向上に努め、市政に対する市民の信頼に応えるとともに、市民が市政に対する正しい認識と自覚を持ち、もって公正で開かれた市政の発展に寄与することを目的とする。

意見募集とその結果

周囲を考慮せずに行われる動物への餌やり等により、良好な

生活環境が脅かされる事例への対策として、今定例会に提案を予定していた「市良好な生活環境の確保に関する条例」（素案）の骨子に対し、市民の意見を反映すべく、2月6日～26日に意見募集（パブリックコメント）を行いました。

募集意見を立案の参考とし、動物をカラスに限定した「市カラスによる被害の防止及び良好な生活環境を守る条例」として提出されました。

※募集意見とその結果はホームページに掲載しています。

請願

今定例会に提出された請願書は次のとおりです。

▽奈良市クリーンセンター建設計画の最終候補地選定の白紙撤回を求める請願書

請願者 〃

奈良市東部地区自治連合協議会

会長 浦辻 俊一氏

他6人

（市民環境委員会に付託）

▽「横井町の山林」への新火葬

場建設反対に関する請願書

請願者 〃

飛鳥地区自治連合会長

大西 昇氏

他9人

（市民環境委員会に付託）

人事案件

5件の選任に全会一致で同意しました。

○教育委員

金春 穂高氏

中室 雄俊氏

○固定資産評価審査委員

沖塚 勝美氏

○人権擁護委員の候補者

浦久保正則氏

野原 純子氏

会派の解散と新会派結成

平成25年3月22日付けで会派「政翔会」が解散しました。

また、3月26日付けで会派「奈良維新の会奈良市議団」が結成されました。所属議員は次のとおりです。

幹事長 浅川 仁（議席順）

三浦 教次

中西吉日出

森田 一成

これにより、会派構成は次のとおりです。

公明党奈良市議会議員団7人、日本共産党奈良市議会議員団6人、民主党奈良市議会6人、政友会5人、奈良維新の会奈良市議団4人、無所属9人

委員の辞任・就任

辞任

○議会運営委員

森田 一成（政翔会）

池田 慎久（政翔会）

○議会制度検討特別委員

植村 佳史（政翔会）

三浦 教次（政翔会）

中西吉日出（無所属）

○議会だより編集委員

植村 佳史（政翔会）

就任

○議会運営委員

森田 一成

（奈良維新の会奈良市議団）

○議会制度検討特別委員

三浦 教次

（奈良維新の会奈良市議団）

植村 佳史（無所属）

○議会だより編集委員

中西吉日出

（奈良維新の会奈良市議団）

議案等の審議結果とその賛否

○：賛成 ×：反対 －：欠席

件名		採決結果	会派名（一部略称）					無所属							
			公明党	日本共産党	民主党	政翔会	政友会	天野秀治	酒井孝江	吉川等子	中西吉日出	松田末作	岡田佐代子	松石聖一	矢追勇夫
◆ 議 案															
予算	平成 25 年度一般会計予算（修正部分を除く原案）	可決	○	×	○	×	○	○	○	○	×	○	×	×	－
	平成 25 年度一般会計予算（委員会による修正部分）	可決	○	×	○	×	○	○	○	○	×	×	×	×	－
	平成 25 年度国民健康保険特別会計予算	可決	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
	平成 25 年度駐車場事業特別会計予算	可決	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
条例	職員倫理条例の制定	総務委員会付託・閉会中継続審査													
	職員の退職手当に関する条例等の一部改正	可決	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	－
	債権管理条例の制定	可決	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
	子ども・子育て会議条例の制定	可決	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
	国民健康保険条例の一部改正	可決	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
	市長等政治倫理条例の制定（修正部分を除く原案）	可決	○	○	○	×	○	○	○	○	×	×	×	×	×
	市長等政治倫理条例の制定（委員会による修正部分）	可決	○	○	○	×	○	○	○	○	×	×	×	×	×
	政治倫理審査会条例の制定（修正部分を除く原案）	可決	○	○	○	×	○	○	○	○	×	×	×	×	×
	政治倫理審査会条例の制定（委員会による修正部分）	可決	○	○	○	×	○	○	○	○	×	×	×	×	×
その他	権利の放棄（土地開発公社借入金の代位弁済に係る求償権の放棄）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	－
	権利の放棄（駐車場公社損失補償契約に係る債権の放棄）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	－
◆ 議会 議案															
条例	職員倫理条例の制定（平成 24 年 12 月定例会提出分）の撤回	承認	全会一致												
	市議会政務調査費の交付に関する条例の一部改正	可決	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	市議会の議員の定数を定める条例の一部改正	議会運営委員会付託・閉会中審査													
	市議会の議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当の額並びにその支給に関する条例の一部改正（30%削減）	否決	×	×	×	○	×	×	×	×	○	×	○	○	－
	市議会の議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当の額並びにその支給に関する条例の一部改正（20%削減）	否決	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	－
	市議会の議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当の額並びにその支給に関する条例の一部改正（10%削減）	可決	○	×	○	×	○	○	○	○	×	○	×	○	－
	市議会基本条例の制定	可決	○	×	○	×	○	○	○	○	×	×	×	○	－
	市議会議員の政治倫理に関する条例の全部改正	可決	○	○	○	×	○	○	○	○	×	×	×	×	－
	政治倫理審査会条例の一部改正	可決	○	○	○	×	○	○	○	○	×	×	×	×	－
	カラスによる被害の防止及び良好な生活環境を守る条例の制定	市民環境委員会付託・閉会中審査													
◆ 動 議															
市議会政務調査費の交付に関する条例の一部改正に対する修正案		否決	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
平成 25 年度一般会計予算等の組み替えを求める動議		否決	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	－
平成 25 年度一般会計予算に対する修正案		否決	×	×	×	○	×	×	×	×	○	×	○	○	－
次代を担う若者世代支援策を求める意見書		可決	全会一致												
中小企業の再生・活性化策の充実・強化を求める意見書		可決	全会一致												
ブラッドパッチ療法の保険適用及び脳脊髄液減少症の診断・治療の推進を求める意見書		可決	全会一致												
保険薬局への無料低額診療事業に関する意見書		可決	全会一致												

※市長提出議案で全会一致したものを省略しています。詳しくは市議会ホームページをご覧ください。

（会派所属議員名）

会 派 名	議員数	所 属 議 員 名													
公明党奈良市議会議員団	7	山中 益敏	宮池 明	伊藤 剛	森岡 弘之	高杉美根子	大橋 雪子	高橋 克己							
日本共産党奈良市会議員団	6	北村 拓哉	山本 直子	井上 昌弘	松岡 克彦	山口 裕司	西本 守直								
民 主 党 奈 良 市 議 会	6	松村 和夫	階戸 幸一	樽谷 佳男	内藤 智司	藤本 孝幸	山口 誠								
政 翔 会	5	浅川 仁	植村 佳史	三浦 教次	森田 一成	池田 慎久									
政 友 会	5	上原 隼	東久保耕也	横井 雄一	北 良晃	土田 敏朗									

※会派は3月定例会時のものです。